

区長選 / 区議補選  
4月15日投票

# 3児の父親として 待機児解消、 子育て安心に全力

私の子どもたちも、保育園への入園待機を経験しました。地域みなさんと力を合わせて、保育問題にとりくむなかで、子どもに冷たい区政は、お年寄りの福祉、障がい者の尊厳、区民のいのちを守れないことを知りました。それが、区政に挑む私の原点です。

区議補選予定候補、党練馬地区福祉・保育対策責任者

## のむら説

野村 せつ

●1975年愛知県刈谷市生まれ、43才。愛媛大学農学部生物資源学科卒 ●長距離トラック、大型トレーラー運転手6年 ●カナダ、オーストラリアに約4年、働きながら滞在。2008年「赤旗」編集部に入局し、国会や中東アラブなど内外を取材し10年 ●早宮在住。家族は妻と1男2女。義父母と同居 ●趣味は、水泳、ハイキング、読書

日本共産党



のむら説さんは  
私の後継者です  
日本共産党都議会議員  
とや英津子

人の痛みに寄り添い、区政に届けるのむら説さん。区政に送るために、私も全力でがんばります。

## のむら説の待機児ゼロ、子育て応援提言



「練馬区の待機児はわずか48人」（2017年度）と前川区長は誇ります。でも、実際には、希望と違う施設に預けざるをえなかった子、育休を延長せざるをえなかった子など「隠れ待機児」を含めると、830人もいました（朝日

新聞デジタル）。

日本共産党練馬区議団は、父母の運動と力を合わせ、この4年間、毎回の本会議質問で認可保育園の増設を求め、2回の緊急申し入れもおこなって、不十分だった区の計画を大

幅に拡充させてきました。それでも今年の練馬区の第一次審査で、希望する保育園に入れなかった子は1800人。この現実をまっすぐ見ることから出発しようと、のむら説は提言します。

- 希望する子ども全員が認可保育園に入れる大幅増設計画をたて実行を
- 「保育園は2歳まで」という練馬区独特の方針をやめ、就学前まで転園なく通える認可保育園に
- 保育士の処遇改善で人員確保を
- 区立保育園の3分の2を委託化・民

- 営化する計画は中止を
- 学童クラブは、子ども達の望む方式で増設を
- 周産期医療、小児救急医療体制の充実を
- 学校給食費の負担軽減と無償化の拡大を

### 財源はあります

練馬区の貯めこみ金は800億円。そのうち何にでも使えるのが400億円。その一部を有効に活用すれば、これらの提言を実現できます。

### みなさんの願い 実現に全力で がんばります

- 特養ホームを増やし入所待ちをゼロに
- 救急病院の増設、周産期医療と小児救急の充実
- 国保料の新年度の値上げやめ、値下げを
- 介護保険料は低・中所得層の負担軽減を

- 小中の全学年で30人学級実現を
- 旭丘、小竹小、旭丘中の統廃合中止
- 耐震、住宅リフォーム助成制度実現
- 区内の各駅にホームドアの設置を
- 外環道(その2)、放射35号道路、補助232号道路などは白紙に

練馬区民新聞

2018年3.4月号外 ●日本共産党練馬地区委員会の見解を紹介し  
発行：練馬区民新聞社 発行責任者：中川のり子 連絡先 03-3999-9270

●ご意見やご感想、ご相談は…日本共産党練馬地区委員会  
☎03(3998)5621までお寄せください。